

2024年度事業報告

公益法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会及びイベント

○第35回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程:2024年(令和6年)5月25日・26日

会場:Greetings Squash Saitama

参加人数:60名

○第35回ジャパンジュニアオープン2025

日程:2024年(令和6年)8月10日~13日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

Squash Magic Academy Squash&Golf

参加人数:314名

○第30回スカッシュマスターズカーニバル

日程:2024年(令和6年)10月12日~14日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:122名(ダブルエントリー等のべ人数189名)

○文部科学大臣杯争奪第53回全日本スカッシュ選手権大会

<令和6年度スポーツ振興基金助成>

日程:2024年(令和6年)11月21日~24日

会場:倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム内スカッシュコート

参加人数:164名(選手権118名・マスターズ46名)

○2024JSA ジュニアチャレンジカップ in ウインター

日程:2024年(令和6年)12月27日・28日

会場:Squash Magic Academy Squash&Golf

人数:84名

○JOC ジュニアオリンピックカップ第29回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程:2025年(令和7年)3月28~30日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:133名

■専門委員会活動報告

<規則公認委員会>

- ① 協会の規程の見直し・整理
- ② 不足規程の洗い出しと策定
 - 「肖像権等に関する管理・運用規程」
 - 「公認大会競技服装規定」
- ③ ガバナンスコード適合審査自己説明の作成と発表
- ④ 研修会開催・参加
 - ガバナンス及びコンプライアンスに関する研修及び講習会への参加
 - 協会役員・正会員向けガバナンス研修会開催(3月)
<2024年度スポーツ振興くじ助成事業>

<選手強化委員会>

- ① 2024年度ナショナルチーム海外派遣事業報告
 - 別紙参照
- ② 国内強化事業
 - スカウト練習会
 - 年間8回開催
 - 会場 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
 - 対象 スカウト選手・ジュニア強化指定候補選手(数名)
 - ジュニアサマーキャンプ
 - 開催日 2024年8月14日
 - 会場 Squash Magic Academy Squash&Golf
 - 参加者数 14名(ナショナル選手・スカウト選手)
 - 西日本ジュニアキャンプ

- 開催日 2024年11月22日
- 会場 セントラルフィットネスクラブアルパーク
- 参加者数 9名(スカウト選手)
- ジュニアウインターキャンプ
 - 開催日 2025年1月19日
 - 会場 Squash Magic Academy Squash&Golf
 - 参加者数 11名(スカウト選手・一般選手)

③ コーチング部会活動報告

- アジア連盟コーチ委員会との連携
- 公認コーチレベル1講習会の開催
- 公認コーチ及び公認普及トレーナーの資格更新
- 公認コーチ及び公認普及トレーナーの講習会テキストの修正・更新

<競技委員会>

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成
- ② 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し
- ③ 協会主催大会における競技関係業務のサポート
- ④ 協議関連の規定・ルールに関する整備

<レフリー委員会>

- ① レフリー委員会ミーティング(オンライン)
- ② 国内レフリー技術向上のための活動
 - レフリーワークショップの開催(オンライン)
 - 国内公認大会におけるレフリーアセスメント実施
 - 学連主催レフリー講習会への講師派遣
- ③ 情報提供活動
 - 協会 HP での情報提供
 - オンラインワークショップでの情報提供
- ④ 公認資格に関する活動
 - 支部主催の公認審判員資格取得のための講習会のサポート(3回開催)
 - 1級設置に向けてのカリキュラム検討
 - 2級～4級における資格認定の見直し
- ⑤ レフリー派遣活動
 - 大会へのレフリー派遣(学連委員会との連携)
 - 世界選手権団体戦(香港)へのレフリー派遣(渡航費協会負担)

<総務委員会>

- ① 会員募集の作業と情報管理
 - 2024年度会員情報の管理及び更新作業
 - 2025年度の会員募集に関する作業
 - 団体会員募集 1/31 スタート・個人会員募集 2/7スタート
 - HP 及びスポーツエントリー(ウェブサイト)での募集案内
 - スポーツエントリー(ウェブサイト)での申込受付
- ② JOC・JSC・JADA 等、各加盟団体との連携
 - 申請及び報告作業
 - 加盟団体主催の講習会及び研修会への参加
- ③ 会議体運営
 - 総会の準備・運営
 - 理事会・常務理事会・専門委員長会議の準備・運営
 - Teams の活用による、各組織・委員会への情報共有
- ④ 各種規程類の整備
 - 規則公認委員会との連携による規程類の整備と制作
- ⑤ 財務管理
 - PCA を活用しての財務管理
 - 公認会計士及び協会監事による会計監査の実施と2023年度財務諸表の理事会及び総会での承認作業
 - 2024年度の人事労務・経理入力および管理
 - 2025年度の予算案の策定及び理事会での承認
 - 各種助成金に関する調査、申請と報告業務
 - 日本スポーツ振興くじ助成 公式機関誌制作及びガバナンス研修会
 - 日本スポーツ振興基金助成 第53回全日本スカッシュ選手権大会
 - JOC 補助金に関する申請と報告業務
 - 選手強化事業の精算作業と報告
 - その他の助成金等に関する申請と報告作業
 - ミズノスポーツ振興財団助成金の申請と報告作業
 - 公益社団法人定期報告
 - 2023年度定期事業報告提出⇒2024年6月
 - 2025年度定期事業計画提出⇒2025年3月
- ⑥ 各支部との連携
 - 公認大会や講習会開催に関する事務的作業
 - 各支部の会員データ提供と給付金の送付
- ⑦ 普及事業へのサポート

- エアスカッシュキャラバン開催におけるスケジュール管理と事務的サポート
- ⑧ 各種公認に関する事務的作業またはサポート
 - 公認審判員・公認コーチ・公認普及トレーナーの公認及び更新作業
- ⑨ 機関誌制作のサポート(マーケティング委員会広報部会との連携)
- ⑩ 国際部活動報告
 - 活動目標:1 アジアの国としての協会の地位と運営地盤の確立を目指す
 - 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロ協会)の情報収集と連携
 - WSF 及び ASF 主催の総会への出席
 - WSF 及び ASF からの情報の共有
 - 2026年愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会との連携
 - ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の組織委員会との連携及び京都市実行委員会、JSA 関西支部との連携再編成
 - 国際大会における代表選手派遣手続きのサポート
 - 世界学生選手権
 - ワールドゲームズ2025成都大会
- ⑪ アスリート部会報告
 - 部会内ミーティング開催
 - 選手へのヒアリング作業
 - ドローのシーディングシステムの意見収集及び提案(全日本選手権で採用)
 - 公認大会服装規定の策定サポート
- ⑫ アンチ・ドーピング部会
 - 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)主催の講習会に参加
 - 選手強化委員会によるアンチ・ドーピング講習会をサポート

<地区支部委員会>

- ① 安全性を重視した大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
- ③ 地区支部の意見集約をして常務理事会への提言・提案を行う
 - 常務理事会及び専門委員長会議にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
- ④ 市区支部における会員拡大のための施策検討
 - 会員制度・給付金制度の制度改革を含む検討
- ⑤ 地区支部に対する、コンプライアンス研修の実施

<マーケティング委員会> ※普及渉外委員会と広報委員会が2024年6月より統合

- ① マーケティング部会活動報告
 - 協賛企業の新規開拓
 - AGC 株式会社との新規協賛契約締結
 - 協会主催大会の協賛企業獲得
 - JOC マーケティング部との連携により活動費の獲得
 - セールスシート及びオフィシャルパートナープログラムの更新
- ② 広報部会活動報告
 - 機関誌「SQUASH」の制作
 - 95号・96号の制作と発表・発送作業
 - HP の更新、SNS、各種メディアへの情報発信
 - メディア対応
 - 主催大会でのメディアへの対応
 - 各種取材への対応(映画・テレビ・雑誌・ラジオ等)

<学連委員会>

- ① 全日本学生連盟との定期ミーティング開催(毎月)
- ② 学生向け審判講習会の発案(レフリー委員会と連携)
- ③ 全日本アンダー23の学生協力依頼と実施
- ④ FSU 世界学生に関する確認(事務局と連携)
- ⑤ 登録料に関する協議と確認
- ⑥ 学生の施設利用料に関する協議

<科学委員会>

- ① スカッシュ関連の学術論文の紹介サイトを X 上にテスト運用
- ② 世界におけるスカッシュ関連の研究動向を調査

<アジア競技大会準備委員会>

- ① 2026愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会との連携
 - 会場・人材・設備・備品等に関して
 - 競技に関して
 - ASF との連携
- ③ 同組織委員会への職員出向
 - スポーツマネージャー(足立)
 - テクニカルオペレーションマネージャー(吉永)

以上